

Technical Brief

EIZO IP デコーダ 世代別の機能比較

FDF2304W-IP
FDF4627W-IP
FDF2711W-IP
DX0211-IP

A 版
(2022/2/18)

目次

1	概要.....	3
2	世代による機能の違い.....	3
2.1	リモコン.....	3
2.2	USB ストレージデバイス.....	3
2.3	HDMI と解像度.....	4
2.4	表示性能.....	5
2.5	セキュリティ.....	6
2.6	ライブ画面.....	7
2.7	カメラの機能設定.....	10
2.8	遠隔地にあるデコーダの管理.....	11
2.8.1	ブラウザを使ったデコーダ管理.....	11
2.8.2	ソフトウェアを使ったデコーダ管理.....	12
2.9	その他の機能.....	12

1 概要

EIZO IP デコーダは以下の世代に分かれています。本文書では世代による機能の違いについて説明します。



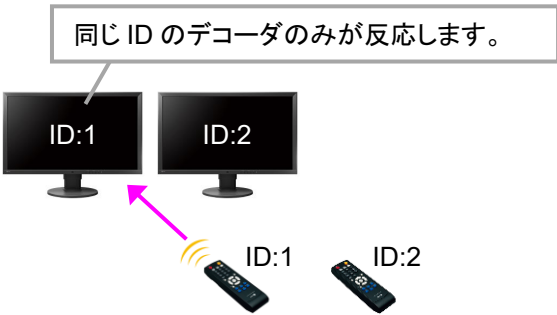
- 第 1 世代: FDF2304W-IP、FDF4627W-IP
- 第 2 世代: FDF2711W-IP、DX0211-IP

第 1 世代の一部の機能は第 2 世代でサポートされていません。現在お使いの機能が第 2 世代でも利用できるのかご確認ください。

2 世代による機能の違い

2.1 リモコン

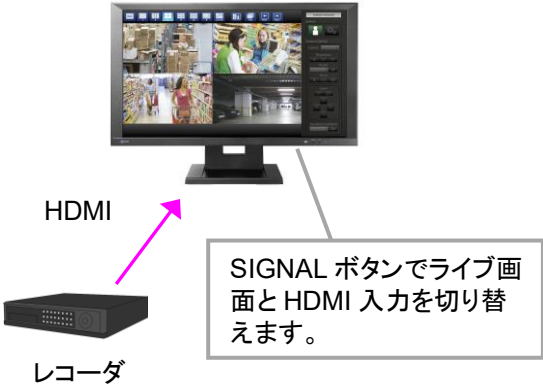


第 2 世代は、日本向けデコーダのみにリモコンが同梱されています。

機能	説明	第 1 世代	第 2 世代
ライブ画面の操作	ライブ画面をリモコンで操作します。 	✓	✓
設定画面の操作	設定画面をリモコンで操作します。 	✓	
リモコン ID	リモコンとデコーダに ID を設定します。複数デコーダを並べている環境で、デコーダを誤って操作するのを防ぎます。 		✓

2.2 USB ストレージデバイス

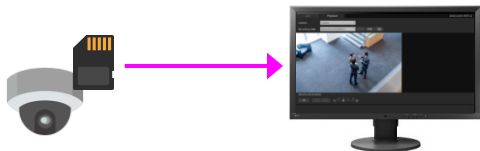
第 2 世代デコーダは USB ストレージデバイス(USB メモリー)非対応です。

2.3 HDMI と解像度

第 1 世代	第 2 世代
<p>HDMI 入力対応です。 レコーダの表示装置としても使用できます。</p> <p>FDF2301W-IP、FDF4627W-IP: HDMI 入力 x 1 (最大 1920 x 1080)</p> 	<p>HDMI 出力対応です。 ライブ画面をモニター 2 台に表示できます。</p> <p>DX0211-IP: HDMI 出力 x 2 (最大 3840 x 2160)</p>  <p>FDF2711W-IP: HDMI 出力 x 1 (最大 1920 x 1080)</p> 

2.4 表示性能

第 1 世代	第 2 世代
最大 16 台のカメラを同時表示できます。 動画圧縮形式 H.264、MJPEG ¹ 対応です。 同時表示可能なカメラの解像度とフレームレートの参考値は以下のとおりです。 [ビットレートを 4096kbps に設定した場合] <ul style="list-style-type: none"> • 1 面表示: 1920 x 1080 / 30 fps • 4 面表示: 1920 x 1080 / 20 fps • 16 面表示: 640 x 480 / 30 fps 	最大 32 台のカメラを同時表示できます。 動画圧縮形式 H.265 ² 、H.264、MJPEG ¹ 対応です。 同時表示可能なカメラの解像度とフレームレートの参考値は以下のとおりです。 [ビットレートを 4096kbps に設定した場合] <ul style="list-style-type: none"> • 1 面表示: 3840 x 2160 / 30 fps、1920 x 1080 / 60 fps • 4 面表示: 3840 x 2160 / 20 fps、1920 x 1080 / 60 fps • 16 面表示: 1920 x 1080 / 20 fps • 32 面表示: 1280 x 720 / 15 fps

機能	説明	第 1 世代	第 2 世代
プレイバック	カメラの SD カードに保存されている録画データを再生できます。 		✓ ³
SRT	SRT はインターネットのような不安定なネットワーク環境で、H.264 や H.265 などのストリームを安全、確実に、遅延なく転送する次世代の映像伝送プロトコルです。		✓ ⁴
MPEG2-TS	MPEG2-TS は画像や音声データをまとめて送信するための規格です。デコーダは MPEG2-TS ストリームに含まれている H.264 や H.265 の画像を取り出して表示します。		✓

¹ MJPEG は ONVIF プロトコルのみで利用できます。

² H.265 の互換性情報は[こちら](#)でご確認ください。

³ エンタープライズライセンスと機能拡張 Playback ライセンスが必要です。

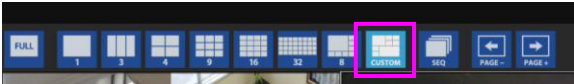

⁴ エンタープライズライセンスと機能拡張 SRT ライセンスが必要です。

2.5 セキュリティ

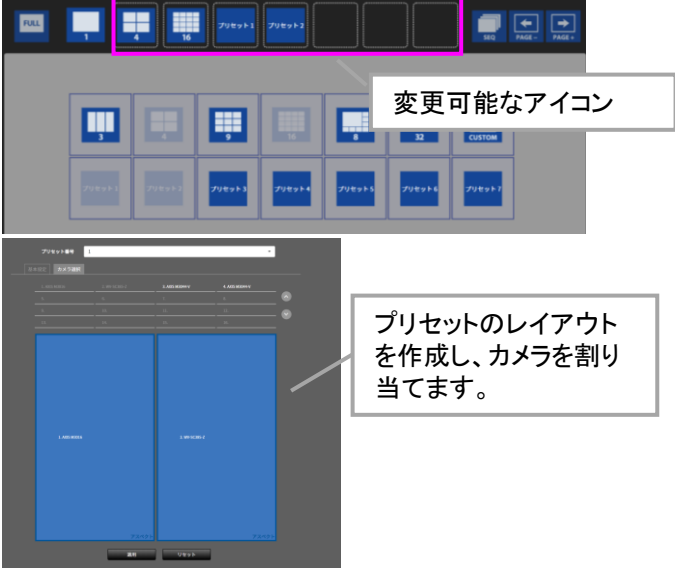


機能	説明	第 1 世代	第 2 世代
操作ロック	デコーダ前面のボタンを使用できないようにします。	✓	✓
USB ロック	デコーダに接続した USB 機器を使用できないようにします。	✓	✓
リモコンロック	リモコンを使用できないようにします。	✓	✓
HTTPS	デコーダと他のネットワーク機器(カメラやコンピュータ)との通信を暗号化します。		✓
IP アドレスフィルター	デコーダにアクセスできるネットワーク機器を IP アドレスで制限します。		✓
AXIS SRTP	AXIS SRTP は暗号化した映像ストリームに関する AXIS 社のプロトコルです。		✓ ⁵
LDAP	LDAP サーバーでデコーダのユーザーとパスワードを一元管理できます。		✓ ⁵
IEEE 802.1X	IEEE 802.1X で保護されているネットワークにデコーダを接続します。		✓ ⁵


⁵ エンタープライズライセンスが必要です。

2.6 ライブ画面

分類	機能	説明	第1世代	第2世代
設置	マルチモニター表示	モニター2台に画面を表示します。 拡張表示:  複製表示: 		✓
	画面の縦表示	画面を 90° /270° 回転します。マルチモニター表示対応です。		✓ ⁶
レイアウト	カスタムスクリーン	カスタムスクリーンのレイアウトをカスタマイズできます。  	✓	✓
	カメラ位置の固定	カメラを固定し、ページ切り替えに関係なく、常に同じ位置に表示します。カスタムスクリーンのみに設定できます。 		✓

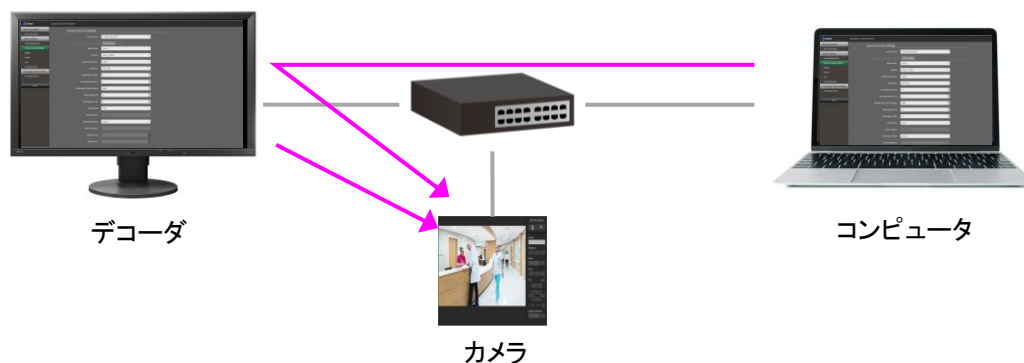
⁶ エンタープライズライセンスが必要です。

	アイコンアレンジャー	<p>レイアウトアイコンの並び替えと削除を行います。 プリセットのレイアウトを最大 7 個作成し、アイコンを表示することもできます。</p> 		✓ ⁶
カメラ画像	カメラ名表示	画像の左上にカメラ名を表示します。	✓	✓
	カメラ名のカスタマイズ	カメラ名のサイズ、文字色(白/黒)、文字枠、背景、位置(左上/右上/左下/右下)を変更します。		✓
	視認性最適化機能	輪郭補正、暗部補正、ノイズ低減によりカメラ画像を見やすくします。	✓	
	プライバシーマスク/バーチャルライン	<p>画像にプライバシーマスクやバーチャルラインを表示します。</p> 		✓
カメラ PTZ	PTZ 操作	カメラの PTZ(パン/チルト/ズーム)を操作します。	✓	✓
	マウスによる位置調整	カメラ画像をマウスでクリックすると、クリックした場所が中心になるようにパンとチルトが動作します。	✓	
	PTZ アジャスト	<p>パン、チルト、ズームを実行したときの変化量を調整します。</p> 		✓

	PTZ 操作画面のオーバーレイ表示	カメラ画像上にマウスのカーソルを移動すると、PTZ 操作画面が表示されます。 		✓
補助コマンド	カメラの補助コマンド	カメラの補助コマンドを実行し、ワイパーや赤外線機能を実行します。	✓	✓
	HTTP コマンド送信	ライブ画面の補助コマンドから、ネットワーク機器や IP モニター自身に HTTP コマンドを送信できます。		✓
入力機器	リモコン	ライブ画面を操作します。	✓	✓
	マウス	ライブ画面を操作します。	✓	✓
	キーボード	ソフトウェアキーボードの代わりに文字入力に使用します。L キーでレイアウトを切り替えるなどのショートカットキーにも対応しています。		✓
	ジョイスティック	カメラの PTZ を操作します。AXIS T8311 ジョイスティックのみ対応です。		✓

2.7 カメラの機能設定

第2世代では、デコーダとブラウザのどちらからでもカメラの機能設定を変更できます。



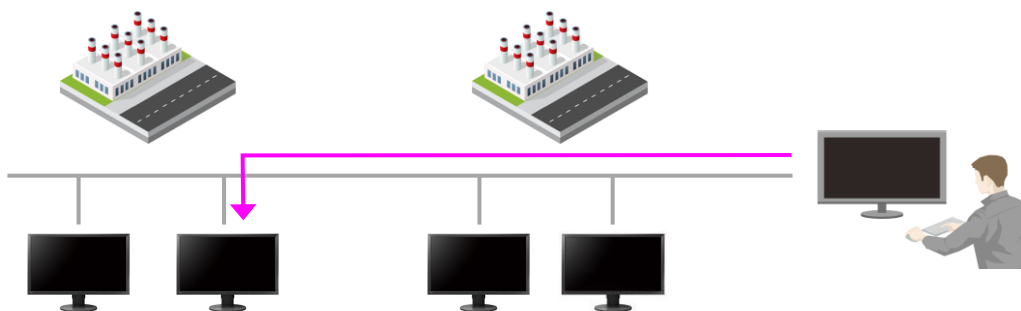
プロトコル	カメラの機能設定	第1世代		第2世代	
		デコーダ	ブラウザ	デコーダ	ブラウザ
Panasonic	時刻設定	✓		✓	✓
	ビデオ設定	✓		✓ ⁷	✓ ⁷
	プリセット設定	✓			
	その他カメラ設定	✓		✓	✓
AXIS	時刻設定	✓		✓	✓
	ビデオ設定	✓		✓	✓
	プリセット設定				
	その他カメラ設定				
ONVIF	時刻設定	✓		✓	✓
	ビデオ設定	✓		✓	✓
	プリセット設定	✓			✓
	その他カメラ設定				

⁷ アスペクト比(撮像モード)非対応です。解像度は表示のみです。

2.8 遠隔地にあるデコーダの管理

2.8.1 ブラウザを使ったデコーダ管理

第2世代ではブラウザを使ってデコーダを設定する機能が追加されており、遠隔地にあるデコーダのトラブルシューティングに役立ちます。



機能	説明	第1世代	第2世代
設定情報の移行	システムの設定情報をファイルに保存します。 バックアップ目的のほか、複数のデコーダを設置する場合に、デコーダを1台設定した後、同じ設定情報を他のデコーダに読み込むことができます。	✓	✓
ログ表示	操作ログとシステムログを表示します。	✓	✓
ログ保存	操作ログとシステムログをファイルに保存します。	✓	✓
接続確認	登録済みのカメラに対して ping や traceroute コマンドを実行します。		✓
ソフトウェア更新	デコーダのソフトウェアを更新します。	✓	✓
ライセンス認証	エンタープライズライセンスや機能拡張ライセンスでデコーダを認証し、使用できる機能を追加します。		✓
ライブストリーミング	デコーダのライブ画面をブラウザに表示します。 遠隔地のデコーダに問題が発生した場合に、ライブ画面に何が映っているのか確認できます。		✓ ⁸
ストリームリフレッシュ	ライブ画面のカメラ画像を最新の状態に更新します。 ストリームリフレッシュを実行すると、デコーダはカメラに再接続します。カメラ画像にエラーが表示されているときに実行すると、状況が改善する可能性があります。		✓

⁸ エンタープライズライセンスが必要です。

2.8.2 ソフトウェアを使ったデコーダ管理

ソフトウェア	説明	第 1 世代	第 2 世代
EIZO IP Decoder Utility	<p>EIZO IP Decoder Utility は当社デコーダを管理するためのソフトウェアです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク上の複数デコーダのソフトウェア更新やライセンス認証を一括で行えます。 デコーダの診断レポートを作成できます。診断レポートは EIZO が問題の解析に使用するためのもので、ユーザーは内容を見ることはできません。 		✓
EIZO Video Wall Plugin for Milestone XProtect	<p>EIZO Video Wall Plugin は Milestone XProtect VMS を使って当社デコーダを管理するためのプラグインです。</p> <ul style="list-style-type: none"> VMS からネットワーク上のデコーダを一元管理できます。 複数のデコーダでビデオウォールを構築し、カメラの映像を表示できます。 		✓ ⁹
サードパーティ製 SNMP 監視用ソフトウェア (SNMP マネージャ)	<p>Simple Network Management Protocol (SNMP)はネットワークに接続されている機器を監視、制御するための通信プロトコルです。当社デコーダは SNMP エージェントとして動作し、SNMP マネージャを使って監視できます。</p>		✓

2.9 その他の機能

機能	説明	第 1 世代	第 2 世代
Web API	<p>Web API は HTTP プロトコルを使ってアクセスする API (Application Programming Interface)です。当社デコーダは、ネットワーク機器やサードパーティ製ソフトウェア向けにデコーダ設定を取得、変更する API を提供します。</p>	✓	✓
イベントルール	<p>指定したイベントが発生したときに、デコーダから他のネットワーク機器に HTTP コマンドを送信します。デコーダ自身の Web API を実行することもできます。</p>		✓
フェイルオーバー	<p>フェイルオーバーは VMS と一緒に使用することを想定した機能です。フェイルオーバー機能を有効にしたモニターは、サーバーと通信できなくなると、フェイルオーバー用に登録したカメラに直接接続して画像を表示します。</p>		✓ ¹⁰

⁹ 各デコーダにエンタープライズライセンスが必要です。

¹⁰ エンタープライズライセンスと機能拡張 Failover ライセンスが必要です。